

令和7年度 次世代創出PBL推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	45
学校名	富山県立富山高等支援学校

学校の現状と課題	本校は、軽度知的障害のある生徒を対象とし、卒業後の一般企業等への就職など、社会的・職業的自立を目的とした特別支援学校である。作業学習や就業体験などを通して「働く力」を育成したり、生徒会活動や学校行事等を通して集団や社会の一員として、「よりよい生活や人間関係を築こうとする態度」を養ったりする指導を行ってきた。しかし、中には、障害の特性から、就労に対するイメージがもちにくく、就労意欲が希薄であったり、社会経験や臨機応変に対応する力が乏しかったりする生徒もいる。	
テーマ(特色)	社会的・職業的自立を目指して ～主体的・対話的で深い学びの視点での指導の在り方について～	
設定した「テーマ」の達成状況	①外部専門家による「プロフェッショナル講座」の取組 ・各作業班において、プロフェッショナル講座を実施した。 ・各作業班において、外部専門家からの助言をもとに授業改善を実施した。 ②ICT機器を活用した取組 ・外部専門家による研修会を実施し、業務での活用に取り組んだ。	
実施内容 (具体的に記入する)	①外部専門家による「プロフェッショナル講座」の取組 ・各作業班において、学習内容に関連のある講師を招き、道具の正しい使い方や注意点などについて助言をいただいた。 ②ICT機器を活用した取組 ・大学より講師を招き、生成AIの活用に関する研修会を実施した。本校では、Google Workspaceを主として活用するため、生成AIの「Google Gemini」を活用する内容とした。	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	①外部専門家による「プロフェッショナル講座」の取組 ・外部専門家より直接指導を受ける機会を得たことで、生徒は緊張感をもって意欲的に学習に取り組んだり、清掃等の作業スキルを向上させることができた。また、教師は日頃の授業を見直し、指導方法や学習環境を改善することができた。 ②ICT機器を活用した取組 ・有効なプロンプトについて考えたり、活用のルールや注意点を意識して生成AIを活用することで、教師は授業や会議の準備を短時間で行うことが可能となり、教職員の業務効率が向上した。	
対象者(学年・人数など)	教職員、生徒(各作業基礎班)	
実施実績	4月	第1回研究推進委員会(研究方針の確認) 県内外部講師を招いての研修会(作業学習:食品加工班、流通班、環境班、福祉班)
	5月	校内での研修についての共通理解
	6月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習:食品加工班、流通班、環境班、福祉班)
	7月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習:福祉班)
	8月	第2回研究推進委員会(研究方針の確認)
	9月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習:流通班、環境班、福祉班)
	10月	
	11月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習:食品加工班、流通班、環境班、福祉班)
	12月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習:食品加工班) 県内外部講師を招いての研修会(全校研修:大学教授)
	1月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習:食品加工班、流通班、環境班、福祉班)
	2月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習:食品加工班) 県内外部講師を招いての研修会(3学年:専門学校教員)
	3月	第3回研究推進委員会(研究のまとめ)